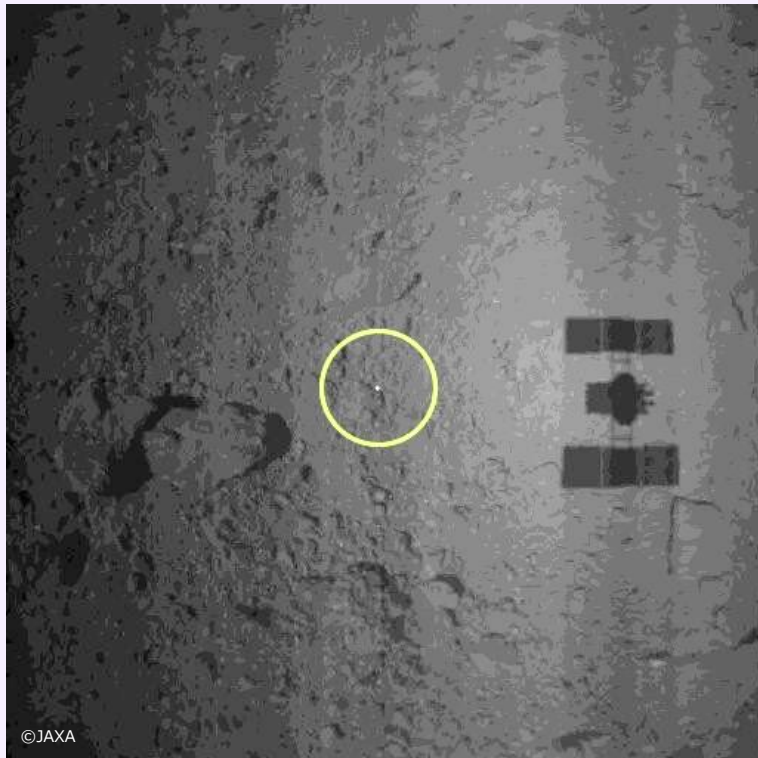


約18万人の思いがリュウグウに届いた! ターゲットマーカの着陸成功



撮影時日時：10月25日11時47分（日本時間）撮影高度：リュウグウ表面から約20m

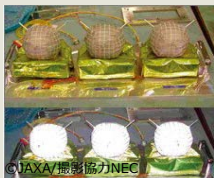
小惑星リュウグウへのタッチダウンに向けた3回目のリハーサル(TD1-R3)の際に、小惑星探査機「はやぶさ2」に搭載されているターゲットマーカ1個が分離・投下され、無事に着地に成功したことが確認されました。また、「はやぶさ2」から撮影した画像にも写っていることが判明しました。

ターゲットマーカ

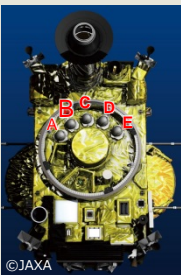
ターゲットマーカの大きさは直径10cmほどで、周りに貼り付けられた反射フィルムが「はやぶさ2」から発せられたフラッシュによって明るく輝きます。これをガイドにして、「はやぶさ2」はリュウグウへの着陸（タッチダウン）に挑みます。すべてのターゲットマーカ内部には2枚の薄いシートに応募者の名前を刻んで縫込んであります。



©JAXA
ターゲットマーカ (TM)
上と右の画像は「はやぶさ2」のもの



©JAXA/撮影協力NEC
TMにフラッシュをあてない時
(上)とあてた時(下)の比較



©JAXA
「はやぶさ2」のTM搭載位置
今回投下したTMはB

小型モニタカメラによる自撮り画像

TD1-R3の際にリュウグウ表面に近づいたときに、CAM-H（小型モニタカメラ）で撮影された自撮りによるサンプルホーンとその背景に遠ざかっていくリュウグウの表面、そしてそこに映る探査機の影がくっきりと見えます。

CAM-Hは一般からの寄附金により製作・搭載されたもので、機体側面の一番下の縁付近に取り付けられています。



「JAXAはやぶさ2プロジェクトサイト」<http://www.hayabusa2.jaxa.jp/>